

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名	二畳の茶室 2018
実施日	平成 30 年 11 月 3 日（土）～ 平成 30 年 11 月 4 日（日）
実施場所	マーメイドカフェ周辺
企画代表者の氏名、所属	氏名：中筋温子 所属：工学研究科建築学専攻建築設計学研究室
構成員の氏名	長木奈々 岡本孝太 野村知早 (2名減)
指導的立場の教員氏名	岡河貢
企画の目的及び内容	学部・院で学んだ意匠・環境・構造の知識を活かし、学生が主体的に設計・施工を行うことを目的とします。 また、作品を大学祭で外部に展示し実際に茶室として利用することによって、非日常的な建築空間を多くの人に体験していただき、普段は意識しない建築の楽しさや魅力を伝えます。
来場者数	200 名
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）	広島大学工学研究科建築学専攻 広島大学茶道研究会 広島大学裏千家茶道部 フォトコンテスト モニュメントのある風景（応募資格：プロ・アマ問わず国内在住の方）
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）	<p>本年は竹と和紙を使用して茶室を製作しました。まずコンセプトを設定し、模型や設計図を作成しました。必要な材料については、竹、和紙、工具などインターネットで発注し、木材や石などはホームセンターナフコで購入しました。施工は建築学専攻の学生のみで、安全に注意しながら進めました。</p> <p>広報活動としては、ポスターを制作し学内に掲示しました。学外への案内や SNS の活用、フライヤーの配布ができなかったため、事前の案内は主に学内の方に向けたものになりました。</p> <p>大学祭 1 日目は広島大学茶道研究会、2 日目は広島大学裏千家茶道部の方々にお茶を点てていただきました。茶室の前をたまたま通りかかった方や、大学祭のパンフレットを見てこられた方、学生など、本年も多くの方々に茶室の空間とお茶を楽しんでいただくことができました。毎年この二畳の茶室の企画を楽しみにしてくれている方も多くいました。</p> <p>お茶を点てている時間以外は多くの子どもが内部に入り、遊び場としても活用されていました。</p>

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

アンケートは実施せず

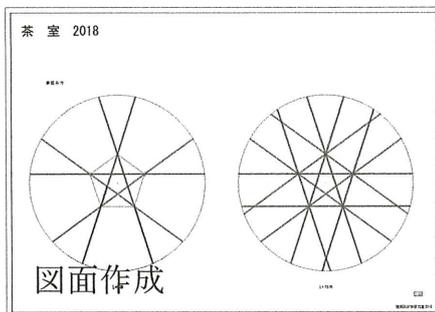
成果・課題

本年の「二畳の茶室」は、竹と和紙といった伝統的な日本建築に用いられてきた材料を使いながら、半球体で空間を覆うことで新しい形を持った茶室を製作しました。半球体は和紙で完全に閉じてしまうのではなく、ところどころ窓のように視線が通る箇所を設けることで、茶室の内部にいても周囲の様子を感じられるようにしました。

施工の際は図面通りの半球体をつくるのが難しく、現場で寸法を合わせながら作っていくしかなく、予定通りに進められませんでした。

大学祭当日の見学者や茶道研究会、裏千家茶道部の方々からの感想としては、遠くからみても面白そうで引き込まれるといったことや、気持ちの良い空間で良い体験をできたというものがありました。また日の角度によっては直射日光が当たって熱い、といった意見もあり、屋外で展示をする際の課題が明らかになりました。

実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学研究科支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)